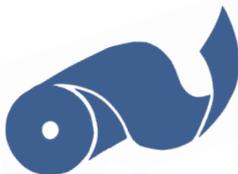
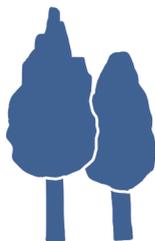
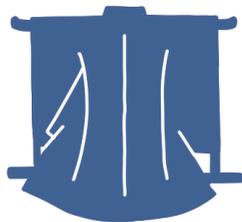


# OIWA AREA BOOK



大岩地域

深草鎮守池地区



京都の産業を支える

発行年 2025年3月

発行元 大岩街道周辺地域Bエリアまちづくり協議会

協力 龍谷大学政策学部井上芳恵ゼミ 京都大学大学院工学研究科神吉・清山研究室



## 京都の産業を支える 大岩地域・深草鎮守池地区



大岩街道周辺地域Bエリアには、約100棟の建物が建っています。主に木材加工、金属加工、その他製造・加工、建設・工事、自動車・バイク関連、リサイクル・廃棄物処理関連、その他事業所・店舗、倉庫・作業場・資材置場などがあります。

昭和40年代頃にこの地に来られた方々は、まだ山・竹林や池が残る里山の風景を覚えておられ、水道や電気、道路、側溝の整備等のために土地や資金、技術を出し合い、鎮守池町内会を立ち上げ、産業廃棄物の野焼きや不法投棄などと戦いながら、それぞれの生活や生業を営んでこられました。かつては地域に子どもたちも多く、地藏盆なども開催されていたようですが、多くは巣立っておられます。

平成に入ってから、街中では操業しづらい事業所などを中心に、既存の建物を活用して新しい事業者が多く入って来られ、2代目、3代目に世代交代している事業所もあります。また、京都に縁のある仕事もあり、非常に貴重な技術をお持ちですが、経済や環境、産業構造の変化などもあり、その技術を跡に継いでいく方が少なくなってきました。

ここでは、特色ある地域の生業とまちの成り立ち、地元住民・事業者・大学・行政が連携した、まちづくりの取り組みを紹介します。



## 地域密着の工務店

大岩地域には工務店など、木材を扱う事業所が10軒近くあります。現地で木材加工をしたり、資材等を保管するため、朝・夕でも作業の音を気にしなくてもよい場所が必要とのこと。

創業約90年、京都市内で木造住宅の新築工事をはじめ、リフォームや外構・エクステリアなど、様々な工事に対応し、特に和風住宅に力を入れ、伝統的な建築技術で地震に強い「込み栓」での施工ができる工務店があります。

また、深草や京都市内を中心に住宅から家具、外装まで住宅等全般に対応する工務店では、町家・伝統建築等で修行した技術を活かして、近隣の農家・民家や町家、地蔵の祠や寺社の板塀なども手がけられています。最近はマンションのリフォームも多く、木の素材を活かした内装、家具や建具なども多いそうです。

## 循環型社会の実現へ。リサイクル、解体、廃棄物処理関連



不用品や金属を買い取り、分別し、リサイクルして販売したり、家や建物の解体、廃棄物処理を請け負う事業所があります。かつては違法に操業する事業所もありましたが、現在は廃棄物処理法に基づき許可を得た事業所によって、回収、資材置場、分別・保管などが行われており、細かい分別などは手作業で行われています。



## 飲食・サービスなどの事業所

ドッグラン&飲食店、ドッグスクール、タクシー事業所、運送業などの事業所があります。

## 30～80代まで 現役大工・家具職人

建築・住宅関係、家具、内装などに携わる職人さんは、木材加工などの作業をしておられたり、家具・内装製作や資材保管のために広いスペースが必要な方もおられます。

北海道出身と鹿児島出身の80代の現役大工さんがおられます。鹿児島出身で製鉄所の建設や大丸百貨店、京都大学の建設にも携わったという大工さんは、約50年前に地元の風景に似た大岩に来られました。昔の風景や大岩の変化をよくご存知で、地域の皆さんで協力して道路や側溝を作ったそうです。

一方で30～40代の若い家具・木工職人もおられます。受注生産でいつも忙しく作業をされています



が、ウェブサイトで作品や仕事の様子を紹介されている方もおられ、若い建築・職人の方々とネットワークを持っておられるそうです。

## 自動車整備関連

(修理、整備、板金、塗装、部品)



平成以降に来られた方が多く、すでに建っていた建物が活用されています。音や匂い等が発生する業種なので、街中での操業が困難ですが、お客さんが車を持って来ることもあります。コンプレッサーやリフトなど、大きな機械類なども設置されており、溶接や塗装を行う事業所もあります。

## 住宅設備から オリジナル製品まで 鉄工所



住宅・設備関係の金属加工、資材置場があり、音が出たり他金属加工のためガスを使用したりします。

2代目が金属を加工する事業所では、先代の時代は家の建設なども行っていました。今は規模を縮小して、住宅の手すりや階段などの小物や工場の配管などを作っており、現地では溶接や長い資材を扱っています。

3代目の兄弟で金属加工・製作を営む事業所では、発注に応じて図面からオリジナルの製品を製造されています。アルミの加工ができる事業所が少なく、公共施設、商業施設関係など、身近なところにも製品があるそうです。安全第一で作業・製作をしています。



# 大岩・京都・全国でここだけ!?

## 特色ある仕事たち

FRP(繊維強化プラスチック)によるマネキンの量産型の製造と成形(複製)、サフ塗装(サーフェイサー、塗装の下塗り)をご夫婦で手作業でされています。マネキンの発祥は京都で、30年前頃には大岩にも同様の業種も多かったのですが、海外製が主流となり、現在は京都に数件のみとのことです。

### マネキン製造



### 造花等葬祭用品製造・販売

3代続く葬祭用品製造卸、慶弔用造花販売、葬祭用品全般を扱う会社があります。工場内では手作りの造花製作やお供え花、お供物などの組み立てなども行われており、発送から回収まで行っておられます。



### 京友禅 染色

工房内に一反(13m)の生地をかけ、刷毛で染料を染める、京友禅の地染め(引染め)の作業を兄弟でされています。40年頃前に現地に來られた際には、水や電気もまだ通っていなかったとのことです。

### フィルムカット

城陽市の金銀系に関連する産業と縁があり、糸を切る裁断機を譲ってもらったところから事業をスタートされました。城陽で金、銀色などに塗装したフィルムを70ミクロン~1.5cmまでの幅でカットし、化粧品等のラメや装飾品として使用されています。海外製品が増える中で国内唯一の事業所です。



# 大岩事業所インタビュー!

龍谷大学の学生による大岩事業所への取材をご紹介します。  
3つの事業所にお話を伺いました。

**01 株式会社 竹花** 昭和23年伏見大手筋にて創業され、平成に入ってから大岩に來られました。主に造花製作、葬儀関連消耗品などを扱い、現地では造花やお供え物の製作や商品の保管、発送・回収などを行っておられます。現在3代目に引継ぎ、時代にあわせた業務を展開しています。



**Q 人気の商品は?**  
A ガラスドーム(LEDライト付き)の造花や、胡蝶蘭など、小さいサイズやカラフルなものが人気があります。

**Q オリジナルの商品は?**

A 創業以来作っている蓮華は、造花用の特殊な紙を染め、プレスし手作りで組み立てており、飾る時には花を広げることができます。

**Q 苦勞したことは?**

A もとは祝い用の花輪などの造花を製作しており親戚も結納飾りなどを作っていました。2代目から葬儀用の造花に切り替えて現在の仕事をしています。

**Q この仕事を始めたきっかけは?**

A 海外製品も増えていること、近年特に家族葬が増えており、時代の流れにあわせて商品のニーズも変わってくるため、対応していくことが難しいです。



### ~ インタビューを終えて ~

昔から変わらない造花の技術を継承しながらも、時代にあわせて取り扱う商品を変えていく難しさと、柔軟に対応していくことの大切さを学びました。訪問時には色々なお話を聞かせていただいたり、イベント用に造花を提供していただいたりと、いつもお世話になっています。

**ラメ工場N社** 昭和40年に大岩に来られ、城陽市の金銀系に関連する産業と縁があり、糸を切る裁断機を譲ってもらったところから先代が事業をスタートされています。城陽で金や銀などに塗装したフィルムを70ミクロン～1.5cmまでの幅でカットし、化粧品等やラメの塗装として使用されています。



**Q 苦労したことは？**  
**A** かつては海外に輸出していたこともありましたが、国際情勢等の影響を受けたり、ラメ入りの海外製品が増えていたり、マイクロプラスチック問題もあり、国内産の需要も減少傾向にあることです。

**Q 商品の特色は？**

**A** 70ミクロンという細かいサイズに断裁できる事業者は、以前は京都周辺にもありましたが、今は国内にも他になく、安全や信頼という点から取引してもらっています。

**Q 会社を引き継いだのはいつ頃？**

**A** 大学では経営工学を勉強し、金型を製造する企業に勤めていましたが、25歳ごろに家業に従事し、とても忙しい時期もありました。特注の断裁機を使っており、不具合が出たらだいたい自分で修理できます。



**Q 昔と今のラメについて**

**A** 中・高校生のころは大岩に住んでおり、野焼きが多く、灰が降ってきていました。鎮守池でプラスチックを釣ったことがあります。今は趣味で家庭菜園をしています。獣が多く、イノシシも畑に来ています。

### ～ インタビューを終えて～

日常生活でも色々なところに使われているラメを作る工程について、実際の機械を見せていただきながらわかりやすく説明していただきました。西陣織などと縁のある金銀系から派生した産業が大岩にあるということに驚くとともに、大きな機械があり、音や粉塵の発生もあるため、街中での操業の難しさを知ることができました。

**(有)津田製作所** 戦前、祖父の時代から「やかんまち」で鍋などを作る職人として金属加工をされており、父の仕事を継いで、現在兄弟で金属・ステンレス加工（装飾金物・建築金物）などを営んでおられます。今回は3代目にお話を伺いました。

**Q 大岩に来たきっかけは？**  
**A** 昭和時代の後半には、建築の金物系などの取り扱いが増え品物のサイズが大きくなり場所が手狭になったことや、機械の入れ直しのタイミング、また加工に音が出るという騒音の問題があり、昭和63年頃大岩に来ることになった。3代目は10代の頃から父の仕事を手伝い、技術を身に付けた。

**Q 仕事の魅力・面白さ・大変さは？**

**A** 仕事の魅力は、やったことのないもの、初めてのものをどう作るかです。図面から立体のものを作り上げて、仕上げていくので、経験値が大切です。若い世代で同様の技術を持っている人はものすごく少なくなっています。特に安全性には気を配っており、溶接部分の強度やきれいさを意識して、納期までの時間がない中でも、丁寧な作業をします。



**Q 製作しているものは？**  
**A** 発注に応じて図面からオリジナルの製品を製作しています。以前はステンレスが中心でしたが、最近はコスト高のため鉄の割合が増えています。アルミの加工もしていますが、ステンレスや鉄とは異なり加工に技術が必要であるため、加工できる事業所が少なく、公共施設、商業施設関係などの製品も取り扱っています。

### ～ インタビューを終えて～

いつも忙しそうに作業をされていますが、学生の活動などを紹介する通信配布の際などには手を止めて、話をさせていただいています。街中で目にしたことがあるような製品も作っておられるとのこと、大岩には色々な職人がおられることを改めて知りました。



# Bエリアまちづくり協議会

大岩街道周辺地域Bエリアまちづくり協議会では、深草鎮守池地区（Bエリア）の将来像について、情報交換・調査・研究を行い、整備の内容など、その実現に向けて取り組んでいます。

協力：伏見区役所深草支所 / 龍谷大学 / 京都大学

## 1 整備の内容



Bエリアは市街化調整区域のため、原則、建物を建てられない地域ですが、地区計画の手法を用い、整備することを想定しています。建物の利用形態や土地の状況等をふまえ、建物用途や道路整備等について検討しています。

### 龍谷大学政策学 井上芳恵ゼミ

地域コミュニティ、大学と地域連携、商店街活性化をテーマに、伏見区内で活動を展開しています。大岩地域では2016年から「ちきれん班」が活動を開始し、住民や事業者、行政との交流の場を設けたり、地域の資源を活用した環境・景観整備を行い、住民主体のまちづくり活動の支援を行っています。

## 2 Bエリアの将来像

「自然・生業・居住のよりよいバランスからなる地域性ある里山」をテーマとし、地域コミュニティの増進によって、持続可能な職住共存型のバランスあるまちづくりを進めることを目標としています。



●豊かな自然環境  
稻荷山南麓の里の自然



●住工混在のまち  
住居と作業場が共存する景観



●歴史的な景観  
歴史をめぐるフットパスとしての道づくり



●地域コミュニティの育成  
日頃の交流のための場所と機会の創出

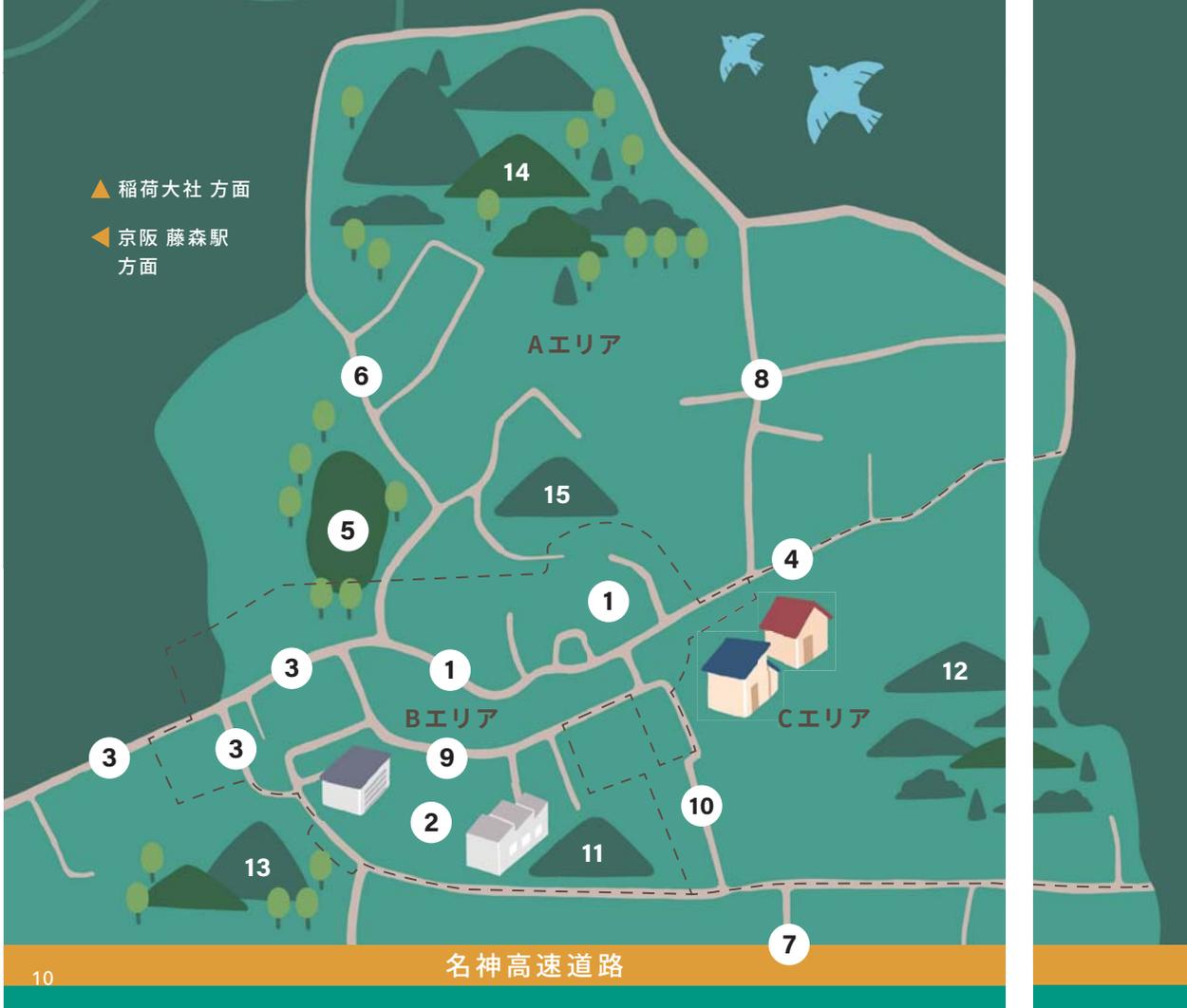
### 京都大学大学院工学研究科 神吉・清山研究室

国内外の都市および集落をフィールドとして、自然環境と人の営みの関係に着目し、生活環境が持つ価値・意味を多層的評価することを通じた、空間デザイン・文化的景観保全の在り方を研究しています。大岩地域では、地区計画策定に向けた土地・建物や景観デザイン等の基礎調査を行っています。

# O I W A M A P

大岩街道周辺地域Bエリア（深草鎮守池地区）は、深草丘陵に位置し、大岩街道に近接します。もともと中ノ郷山、飯食山など高さ50mほどの山々や谷筋の池の間を、里道が通っていました。竹林や田畑が広がっており、深草土がとれる自然豊かな地域でしたが、戦後名神高速道路建設を契機に、採土やその後の違法、無秩序なまちづくりが進み、野焼きや不法投棄も地域の大きな課題となりました。現在も明治期以前からの里道や陸軍射撃場の設置により整備された道、大正期以前の山すそ沿いの道など、歴史的な道が現在も多く残っています。

- ▲ 稲荷大社 方面
- ◀ 京阪 藤森駅 方面



## 1 大岩最古の道

明治時代からの道は現在も使われていたり、建物の隙間として残っています。

## 2 神明請山の尾根道（明治期以前）

かつて大岩を見下ろした山道の跡は敷地境界線になっています。

## 3 旧陸軍射撃場の道（明治41年）

大岩への玄関口。大岩には珍しい真っすぐの道やぐにやりと膨らんだ道は、旧陸軍射撃場の跡です。

## 4 飯食山南裾の道（大正期）

メインストリートに現れる、昔の飯食山や扇ヶ原の輪郭。谷筋を歩きます。

## 5 鎮守池の祠と参拝道（昭和前期）

かつて鎮守池や祠、参道がありましたが、現在は水が減り、広場として整備されています。

## 6 砥粉山農道（昭和後期）

稲荷山へと登っていく道はかつては棚田への農道でした。

## 7 名神下道（昭和後期）

名神の下をくぐるアプローチは昔の神明請山の深い谷筋で明治の田んぼの跡です。

## 8 9 10 造成による新道（昭和後期）

空き地を利用するために作られた道ですが、元々の田んぼの道を繋いだり、埋められた池の輪郭が現れていたり、無秩序に見えて実はそれぞれに由来があります。

## 11 12

### 岩田山と岡田山（昭和後期）

40m級のゴミ山。名神の開通や開発によりなくなってしまった神明請山のかつての大きさや山並みを想像できます。現在少しずつ削られて処理されて、小さくなってきています。

## 13 14 15

### かつての山の名残

すっかり小さくなりましたが、昔から大岩にある砥粉山、飯食山、神明請山は今でも残っています。

# 大岩街道周辺地域 時代背景 ㊦まちづくりの経緯

年代	時代背景・変遷	まちづくりへの動き
S30年代	1955年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都の農作物供給地として、大根、筍、茶を中心に農地が広がる</li> <li>● 瓦や壁の材料に適した粘土質の土（深草土）や砂利が採取される</li> </ul>	
S40年代	1955年～1973年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高度成長期に深草土等が壁土や公共工事等に利用され、土の採取量が急増した</li> <li>● 名神高速道路開通（1963年）</li> </ul>	
	1965年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地価の上昇率が高まる</li> </ul>	
	1967年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物処理業者による残土や廃棄物の埋め立て、野外焼却（野焼き）が増える</li> </ul>	
	1968年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新池が埋め立てられるなど、宅地化が広がっていく</li> </ul>	
	1971年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域全域が市街化調整区域に指定される</li> </ul>	
	1972年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業廃棄物業者が産業廃棄物の処理業（埋立処分）の許可を取得 産業廃棄物のゴミの山（通称：岡田山等）が形成される</li> </ul>	
S50年代	1979年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地所有者や土地利用者による建物の建築が徐々に広がっていく</li> <li>● 地元住民による環境改善に向けた取組（昭和50年頃）</li> </ul>	
S60年代	1985年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の産業廃棄物処理業者の野外焼却（野焼き）によって発生するばい煙や悪臭等の問題に対し、周辺地域住民から京都市への対策要望が強まる</li> </ul>	
H1年代	1988年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● バブル時期の違法な開発</li> <li>● 街中で操業が難しい業者などが大岩街道周辺地域に移転</li> </ul>	
H10年代	1997年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都市が現地に監視事務所を設置（平成15年頃 野焼きは沈静化）</li> </ul>	
	2007年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 深草支所に大岩街道周辺地域環境整備課が設置される</li> </ul>	



年代	時代背景・変遷	まちづくりへの動き
H20年代	2010年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都市において「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」が策定される</li> <li>● Cエリア「岡田山地区まちづくり協議会」が設立</li> </ul>	
	2012年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「大岩街道周辺地域」京都市都市計画マスタープランの地域まちづくり構想に位置づけられる</li> </ul>	
	2013年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各エリアでコンサルタント等の派遣やまちづくりに関する各種調査の開始</li> </ul>	
	2014年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● (通称)岡田山の本格的な撤去が始まる</li> <li>● Bエリア「飯食山町井戸端会議」及び「飯食山町自治会設立準備会」の取組を開始</li> </ul>	
	2015年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Aエリア違反建築物指導・是正</li> <li>● Aエリアまちづくり協議会設立（R3一般社団法人化）</li> </ul>	
	2016年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学（龍谷大学・京都大学）や市民を巻き込むまちづくりを進める。</li> <li>● 深草トレイルー斉清掃ウォークやワークショップを開催</li> <li>● 龍谷大学政策学部井上ゼミ「ちきれん班」が大岩街道周辺地域での活動を開始</li> </ul>	
	2017年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Bエリアまちづくり協議会設立</li> <li>● 海外の大学等との意見交換を実施</li> </ul>	
R1年代	2019年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大岩クリーンアップ大作戦を開催</li> </ul>	
	2021年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Bエリアまちづくり協議会で現道拡幅によるまちづくりが提案される</li> </ul>	
	2023年 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 深草鎮守池地区（Bエリア）まちづくりビジョンを策定</li> </ul>	
現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都の伝統産業を末端で支える中小零細事業者やリサイクル解体・廃棄物処理関係の事業者が集積</li> <li>● 各エリアにおいて、地区計画の策定など地域住民が主体となったまちづくりの取組を継続して実施</li> </ul>	



# OIWA AREA BOOK

大岩街道周辺地域のまちづくりに関するお問い合わせ

京都市伏見区役所深草支所大岩街道周辺地域環境整備担当

TEL 075-642-3175 FAX 075-641-0672